

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なかよし学園			
○保護者評価実施期間	2025/10/1 ～ 2025/10/17			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025/9/8 ～ 2025/9/19			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	2025/12/3			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地方公共団体が運営している事業所なので、町内保育園や小学校、特別支援学校との連携がとりやすく、お子さんの様子や保護者に合わせた移行支援を行っている。	日頃のお子さんの様子を保護者と共有しながら、保護者の意向も大切に、町内保育園への移行を進めている。また、お子さんが安心して保育園生活を開始できるよう、移行先の保育園への情報提供や助言を行っている。 保護者の意向に合わせた就学先の見学、授業体験が行えるよう関係機関との連絡を密にとっている。	今後も保護者の思いを聞きながら、一人一人のお子さんに合わせた移行支援が行えるようにする。
2	親子通園クラスと単独通園クラスがあり、単独クラスは年齢に応じて週に1, 2回実施している。保護者と職員がコミュニケーションをとりやすく、連携を密にすることができる。また、職員間の関係性も良く、報告、連絡、相談を細目に行いながら、クラス間で助け合い、お子さんの状況を共有しながら、支援を進めることができている。	毎朝、クラスごとにカンファレンスを実施し、療育実施内容について確認をしている。療育終了後には、日々の子どもの姿を振り返り、一人一人のお子さんの状況に応じた支援方法を考えている。	保護者とのコミュニケーションを大切にしながら、お子さんの小さな変化にも目を向け、丁寧な支援を行っていく。
3	保育園と併設されており、保育園児と同じ園庭で遊ぶことが、子どもの成長にとって良い刺激となっている。 園庭が広く、固定遊具で体をおもいっきり動かして遊ぶことができる。また、園庭には大きなクスノキやドングリの木があり、木のみを拾ったり、木陰で遊ぶなど、子どもたちにとって遊びやすい環境が整っている。	園庭の広さだけでなく自然豊かな環境である。 園庭に落ちる木の実を拾って遊びに取り入れたり、春には、畑や花壇に集まる昆虫を捕まえ楽しめるよう、環境整備を行っている。	引き続き、子どもたちが楽しく遊べるような園庭環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が老朽化している。	旧園舎側は古く、療育施設用に建てられていない。	旧園舎側が老朽化しているため、お子さんや保護者が利用しやすいように構造を工夫し、過ごしやすい環境を整えている。修繕が必要な場所については、役場と再検討している。
2			
3			